

平成28年度 横浜市病院安全管理者会議 看護部会報告

幹事：みなと赤十字病院 三上 久美子

横浜市立大学附属病院 舘脇 美由紀

看護部会の目的

横浜市立病院、市大病院、市内地域中核病院の安全管理担当者があつまり、医療安全に関する情報交換や研修を行い、安全管理の推進に貢献することを目的とする。

看護部会規定より

参加病院

13施設

横浜市立病院

市民病院 脳卒中・神経脊椎センター みなと赤十字病院

横浜市立大学病院

附属病院 市民総合医療センター

地域中核病院

済生会横浜市南部病院 済生会横浜市東部病院 横浜労災病院

聖マリアンナ横浜市西部病院 昭和大学横浜市北部病院

横浜医療センター 昭和大学藤が丘病院 横浜南共済病院

看護部会 活動内容

- ①安全管理推進に関すること
- ②安全管理について情報の共有化に関すること
- ③看護の質向上に関すること
- ④そのほか

看護部会規定より

第1回会議

平成28年7月27日 14:00～16:00

場所：みなと赤十字病院

議題

1. 医療事故調査制度について
各施設の取り組み状況を共有
 - ◇死亡事例把握のための体制整備
 - ◇現場保全の方法
 - ◇診療録の内容監査
2. 医療事故調査案件に対応した気づきの共有
 - ◇院内医療事故調査会議開催時の委員
招聘について
 - ◇周産期死亡の対応

第1回会議

平成28年7月27日 14:00～16:00

場所：みなと赤十字病院

議題

3. 各施設の身体抑制マニュアルについて

◇抑制具の考え方

◇医師の指示と多職種カンファレンスの状況

◇解除基準

4. 転倒アセスメントスコアシートの項目について

◇各施設のリスク評価項目の考え方

◇転倒予防の工夫

5. 医療安全研修ツールの紹介

第2回会議

平成29年2月3日 13:30～16:30

場所：みなと赤十字病院

議題

1. せん妄、転倒転落防止を目的とした眠剤処方
のルールや取り組み状況の共有
2. 厚労省医政局発信「医薬品の使用に関する
医療安全対策」を受けて取り組んだこと
 - ◇KCLの使用に関する各施設の状況
 - ◇異物混入防止対策
3. 次年度の看護部会活動について
 - ◇現行の活動のほかに、自施設の取り組みに
ついてアピールする機会をもつ

メールでの情報共有

- ◇医療安全研修教材にどんなものを使用しているか
- ◇NICUにおける胃管交換のルール
- ◇検体の取り扱い基準
- ◇レントゲン撮影時の転倒防止対策
- ◇医師のCVC挿入資格基準
- ◇経腔分娩時のガーゼカウントルール
- ◇輸血実施時のチェック体制
- ◇NICUにおけるリストバンドの報告
- ◇簡易懸濁に使用するお湯の確保と管理
- ◇成人虐待マニュアルについて
- ◇内服薬投与時の確認方法

参加 13 病院の安全管理者がタイムリーな情報交換を行い、各施設の医療安全活動に活かしています。

